

2014年10月20日

## 平成26年度協会見学会

触媒工業協会

平成26年度触媒工業協会見学会を実施しました。

日 時： 2014年10月17日(金)午後

見学先： 出光興産(株)千葉製油所、千葉工場、石油化学製品展示場

出光興産(株)石炭・環境研究所、バルクターミナル

出光興産(株)の千葉地区は京葉工業地帯に位置していますが、製油所に隣接して石油化学品工場があることが大きな特徴となっています。従って東京湾に到着した30万トンクラスの大型タンカーは東京湾の沖合にある京葉シーバースに着棧し、そこから海底パイプラインを用いて製油所に原油が送られます。原油は巨大な原油タンクに貯蔵されますが、ここで常圧蒸留装置を用いてガス、ナフサ、灯油、軽質軽油、重質軽油、常圧残油などに分離されていきます。その後の工程で水素化脱硫等の工程で触媒が使用されます。分離されたガスはLPGとして出荷されたり、そのままエチレン装置に導入されたりもします。またベンゼンも次の工程に送られシクロヘキサン、パラキシレンなどの原料にもなります。ナフサはエチレン装置や芳香族装置などへ送られ、多くの製品となっていきます。またこのもうひとつの特徴は潤滑油の生産も行っていることです。広い敷地を使って原油からプラスチックに至る様々な製品が生み出されます。

一方石炭・環境研究所には海外から船で送られてきた石炭を広大な敷地にストックするバルクターミナルがあり、私たちが見学に行った際にはちょうど密閉式のパイプコンベアで石炭を荷卸している最中でした。最後のバルクヤードをフェンスの上から見せて戴きましたが壮大な眺めに感激しました。

今回の見学会は16社、33名の参加があり、盛大なものとなりました。見学会のアレンジ、詳細な説明などご協力くださいました出光興産(株)の皆様には感謝したいと思います。



集合場所となった姉ヶ崎駅



見学の前に説明を受けます

今回の参加者全員です。ちょっと顔の  
見えない人がいるのが残念です。



石炭のバルクターミナル  
広大です